



土岐市  
TEL  
FAX  
メールアドレス  
所  
発行責任者  
発行  
日  
字  
題

教育研究所  
0572-54-1111 (内281)  
0572-55-6310  
kyouiku@city.toki.lg.jp  
No.534  
所長 橋本 勇治  
平成29年 7月10日  
山田 恭正 教育長



しんちゃん、よろしくね！  
妻木八幡神社に新しい馬がやってきました。名前は『しんいちくん』です。しんちゃん、妻木の仲間入りだね。仲良しになろうね。  
撮影者 妻木小学校附属幼稚園  
河口 里砂 先生



## 先生も、子供も「ドキドキ」する授業

土岐市教育研究所長 橋本 勇治

教育長訪問などに同行して学校訪問をさせていただいています。失礼極まりないですが、先生方の教室へお邪魔して、授業を参観させていただける時間はほんの束の間。しかも、参観順によっては、必ずしも先生方の好みの指導場面とは限りません。にもかかわらず、一時間の授業展開が入念に検討され、力のこもった指導略案が手元に届けられています。ここぞとばかり、緻密かつ慎重に準備してくださったのに、予定の時間が守られないこともしばしばで、心苦しい限りです。遅れて教室の入り口をくぐると、子供の最高のパフォーマンスをこの瞬間に引き出そうと、参観者の来訪を今か今かと手ぐすね引きながら、ソワソワして待つ先生の姿に出会います。そして、「私たちの最高の姿を見せようと精一杯準備してくださっている先生に恥をかかせてはいけない」と、先生の気持ちを十二分に察知して、はにかみながらバチバチと、先生との間でアイコンタクトする子供の姿にも出会います。ほほえましくもあり、うらやましくもあり。自分が担任ならなおさら、観ているだけでも「ドキドキ」します。心が躍る瞬間です。

「ドキドキ」する小学校音楽の授業を参観しました。小グループごとに立候補で合唱を披露する場面でした。みんなの前で歌うのはかなり抵抗があるはずですが。前のグループの発表を身体を揺ら

しながら聴き、「次は自分たちも歌いたい」とメンバーが顔を見合わせて立候補し、他のグループに先を越されると心底がっかりしてうなだれる姿がそこにはありました。先生も、子供たちも、参観者も「ドキドキ」、「(ドキドキを通り越して)ヒリヒリ」するような感覚が余韻として残っています。歌声もさることながら、「歌いたい」とグループの仲間と主体的に立ち上がる姿に、驚きと感動を覚えました。

学校を訪問させていただいた時の私のテーマは、「主体的な学びの姿」です。私はこの姿を「自分で考え、判断し、決定して実行する(自分で決めた以上、最後まで責任をもつ)」姿だととらえています。授業でこの姿を発揮させるためには、そういう場をきちんと与えなければなりません。つまり、自分で選択したり、決定したりできる場です。たとえば「挙手発言」はその最たるものでしょう。自分の考えを発表するために挙手するかどうかは本人次第。得意でない子供が挙手するときは、おそらく「ドキドキ」が止まらないでしょう。まして、衆人環視の中であればなおさらです。この音楽のように、子供に選ばせたり、決めさせたりするとすると、先生も「ドキドキ」、子供も「ドキドキ」、観る者はさらに「ドキドキ」、「ヒリヒリ」。主体性発揮の秘訣がここにありそうです。

## 土岐市の幼稚園は今 . . .

土岐市立幼稚園長会長 安田 茂

土岐市には、土岐津、下石、妻木、駄知、肥田、泉、泉西の小学校附属幼稚園7園があります。そのうち、土岐津小学校附属幼稚園は長く5歳児のみの園でした。それが、この4月から、3、4歳児も入園できるようになり、これで7園全園、3、4、5歳が在園することになりました。土岐市の幼稚園にとっては画期的なことです。園児の人数は、各園によって差はありますが、総計で600人前後、3歳児が120名前後、4歳児が130名前後、5歳児が350名前後を推移しており、この数年間でそれほど大きな人数の増減はありません。

市内には、幼稚園のほかに保育園があります。保育園は0歳児から対象で、19時まで保育を行っています。幼稚園でも、5歳児のみではありませんが、家庭のニーズに応じて19時までの預かり保育を実施しています。また、「子ども・子育て支援制度」の推進により、幼稚園と保育園の機能を併せ持ち、子どもたちの「教育」「保育」そして「子育て」を総合的にサポートする「認定こども園」の設立が始まっています。市内では「濃南保育園」が、いち早く「濃南認定こども園」に生まれ変わり、本年度よりスタートしています。

さらに、下石保育園、山神保育園、下石小学校附属幼稚園が1つになって「西部認定こども園」を設立する計画が進められており、平成31年4月開園を目指しています。現西部支所地に新たに建設されます。このような認定こども園化は、少子化の問題や家庭を取り巻く環境の変化などから保護者や地域の多様化するニーズに応えるための全国的な動きで、土岐市においても将来的には「濃南認定こども園」、「西部認定こども園」に続いて、さらに設立が進んでいくことも考えられます。

また、本年度は、30年度から実施される新しい「幼稚園教育要領」の周知・徹底の1年間となっています。新しい教育要領では、小学校への円滑な接続や連携ということにポイントを置き、そのための幼稚園教育において育みたい資質・能力として「知識及び技能の基礎 思考力、判断力、

表現力等の基礎 学びに向かう力、人間性等」を明確にしました。そして、5歳児の修了時までには育って欲しい具体的な姿を「健康な心と体」「自立心」など10項目にわたって「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」として明確にしました。

幼稚園教育は「環境を通して行う教育」を基本とし、幼児の自発的な活動としての「遊び」を中心とした生活を通して、一人一人に応じた総合的な指導を行うことを内容としています。小中学校が教科を通して学ぶのに対して、幼稚園では「遊び」という活動の中で学んでいきます。

土岐市では、「子どもを大切に、夢中になって遊ぶ保育を行い、『生きる力』の基礎を育む」ことを幼稚園の教育方針としています。「夢中になって遊ぶ」というのは、「我を忘れて、周りが見えなくらい」無我夢中で遊びに集中して取り組むことです。この「遊び」というのは大人社会では「仕事」に対する言葉として使います。「仕事」は楽しいものではありませんが、大人の「遊び」には、楽しさがあり喜びや満足感があります。それに対して子どもは、遊びを通して、いろんなことを身につけたり発見したりして学んでいきます。子どもは「遊び」を通して発達していきます。「遊び」の中で、先に述べた「幼稚園教育において育みたい資質・能力」を育てていきます。「遊び」は、これから将来生きていくためのパワーづくりの場であり、「生きる力」の基礎を育みます。夢中になって遊ぶことで、知識や技能、表現力の基礎を学び、健康な心と体や自立心、協同性、道徳性・規範意識の芽生え等を培っていきます。

市内7園では、7人の園長が存在し、5人は小学校、中学校を経験しており、2人は幼稚園、保育園を経験しています。私たちはこうした経験を生かし、学校教育のはじまりとしての幼稚園教育を、小学校との連携・接続ということを踏まえて、積極的に進めていきたいと考えています。これからも、幼稚園教育についてのご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。

# 平成29年度 学力向上推進委員会より

## 1 学力向上推進委員会の役割

教育委員会の諮問に応じ、学力向上に向けた授業改善を中心にして、各校の取組を調査・審議します。その内容を整理し、教育委員会に報告するとともに、要望を提出します。また、校長会等に報告、進言します。

## 2 組織

顧問校長 杉浦 正佳 校長（駄知小）

### 学力向上企画委員会

学力向上推進リーダー：久野 雄司 教頭（駄知小）

学力向上企画委員：伊藤 康代（駄知小） 板倉 みゆき（泉小）

吉村 康介（西陵中） 早瀬 浩孝（泉中）

教育研究所：河合 広映 主任 長瀬 久美子 指導主事

### 学力向上推進委員会

顧問校長 学力向上推進リーダー 学力向上企画委員 研究所指導主事

学力向上推進委員：八槇 匠（土岐津小） 佐々木 美樹（下石小）

高津 宏尚（妻木小） 中根 のり子（濃南小） 内海 裕樹（肥田小）

高木 亜緒生（泉西小） 片田 誠（土岐津中） 加藤 宏峰（濃南中）

虎山 泰昌（駄知中） 今井 竜彦（肥田中）

## 3 活動計画

1	期 日：平成29年5月25日（木） 場 所：土岐市文化プラザ 内 容：・学力向上推進委員（学力向上企画委員）の委嘱 ・今年度の活動計画
2	期 日：平成29年6月30日（金） 場 所：土岐市文化プラザ 内 容：「指導改善プラン」の実効性についての分析 <大学との連携> ・指導改善のプラン：実際の授業改善への有効性 ・PDCAサイクルの組み方 ・授業改善のあり方についての研修
3	期 日：平成29年8月25日（金） 場 所：多治見市バロー文化ホール 内 容：「授業改善による授業実践の交流」（土岐市実践・多治見市実践） <大学との連携 多治見市との合同研修> ・指導改善プランの実効性を実際の授業改善実践によって検証及び見直し ・授業改善についての研修
4	期 日：平成29年12月15日（金） 場 所：土岐市文化プラザ 内 容：「全国学調分析による指導改善プランの見直し」 <大学との連携> ・今年度の授業改善に関わる成果と課題の検証 ・指導改善プランに基づいた来年度の土岐市授業改善の重点 ・H29全国学調分析から改善された指導改善プランに基づく授業研究
5	期 日：平成30年2月7日（水） 場 所：土岐市文化プラザ 内 容：・今年度のまとめ ・来年度の計画

※6月15日（木）、16日（金）管外研修「筑波大学附属小学校」 学力向上企画委員会

## 4 今年度の活動方針

アクティブラーニング「主体的、対話的で深い学び」や、「教師が何を教えるのか」から「児童生徒が何ができるようになるのか」という学び手の側に立つ学習指導への改善が求められています。昨年度は、児童生徒の学力向上に向けて、指導力の向上と授業改善に重点を置き、「3つの見届ける」の「定着状況を見届ける」に焦点を当て、定着状況を見届ける場と時間を確保し、練習問題や評価問題を工夫してきました。

今年度は、「終末からの授業改善」をキーワードに、児童生徒が授業の終末に、「どうしてできる（わかる）ようになったのか」を語るができる姿や、「3つの見届ける」（実態、学習状況、定着状況）を児童生徒自身が見届ける姿をめざして、授業改善をしていきたいと思えます。

すべての授業の終末で、児童生徒に「どうしてできるようになったの？」と問いかけていきましょう。児童生徒は思考の過程を振り返り、語ることで、知識・技能の定着だけでなく、対話的で深い学びの獲得へとつながっていくことでしょう。

### <目標>

- 指導改善プランを生かした授業改善
- 終末からの授業改善
  - ・授業改善（終末からの授業改善）のプランの作成
  - ・授業改善のプランに基づく授業の実践発表と交流
  - ・授業改善の在り方についての研修

### <めざす児童生徒の姿>

- 授業の終末に、「どんなことができる（わかる）ようになったのか」、「どうしてできる（わかる）ようになったのか」を語るができる姿
- 「3つの見届ける」（実態、学習状況、定着状況）を児童生徒自身が見届ける姿

### <キーワード>

## 終末からの授業改善

～「どうしてできたのか」「どうしてわかったのか」～

### <活動内容>

- 指導改善プランを生かした授業改善
  - ・指導改善プランを共有し、指導改善プランを生かした授業改善の方向性や具体的内容を示す。
- 指導改善サイクルの確立
  - ・何を計画（P）し、何に基づいて実践（D）し、いつ、何を評価（C）して、何を改善（A）するのか明確にする。
- ◎終末からの授業改善
  - 「定着を見届ける」場の工夫
    - ・授業の終末に、「どうしてできる（わかる）ようになったのか」を語らせる時間と場を確保する。
  - 児童生徒自身に定着状況を見届けさせるための工夫
    - ・授業の終末に、「どうしてできる（わかる）ようになったのか」を語らせるために、どのように思考の過程を可視化していくのか。（展開、手立て、形態、ワークシートなどの工夫）
  - 授業実践と検証

## ニューフェイスの紹介

今年度、土岐市へ着任した幼稚園、小・中学校の新規採用者は18名です。今、どのような想いで教壇に立ってみえるのでしょうか。

### ◆土岐津小学校

#### 大竹 琴満



「先生！総合って英語で何て言うの？」「じゃあ、算数は？」知りたい、使ってみたいという気持ちでいっぱいの子どもたちは、自主的に英語で挨拶をするようになりました。そのような挑戦する子どもたちから、「私もがんばろう」と勇気もらっています。土岐津小学校の先生方からたくさんのことを学び、子どもたちとともに成長していきたいです。

### ◆土岐津小学校

#### 渡邊 草太



土岐津小学校の近くには、山や川など豊かな自然が広がっています。そんな自然に囲まれて伸び伸びと育つ子どもたちです。校庭で虫を探しているとき子どもたちの瞳はキラキラと輝いています。その輝きを校庭でも教室でも増やしていきたいです。日々是精進。土岐津小学校で一つでも多く吸収して、成長したいと思います。

### ◆下石小学校

#### 古田 佳奈



下石小学校の古田佳奈です。はじめは何もできず、自分の無力さを感じていました。2ヶ月がたち、先生方にいろいろなことを教えていただき、子どもたちからもたくさん学んでいます。元気では子どもに負けてしまいますが、笑顔では負けないようにしようと心がけています。これから子どもたちと一緒にたくさん成長していきたいと思っています。よろしくお願いいたします。

### ◆妻木小学校

#### 坂井 岳生



土岐市は学校と家庭・地域の繋がりが強く、大人が一丸となって子どもを育てていこうとしている印象を受けました。その温かい風土の中で育った明るく賢い子どもたちは、一緒に過ごす中でいつも元気を分けてくれます。僕も子どもたちの元気に負けないよう、愛情と使命感を大切に子どもたちと接していきます。これからお世話になりますが、よろしくお願いいたします。

### ◆駄知小学校

#### 小島 優美香



各務原市から土岐市に来て、自分の母校と同じ規模の駄知小学校に赴任となりました。懐かしさを感じながら、とても元気な2年生の1年後の姿を楽しみにしています。初めて教員となり不安もありますが、分からないことはすぐに聞き、たくさんのことを学び身につけていきたいと思っています。子ども達の力に少しでもなれる教師として頑張ります。これからよろしくお願いいたします。

### ◆駄知小学校

#### 鵜飼 剛



ほぼ20年ぶりに、正規採用となりました。振り返ってみると、多治見市・山県市・土岐市・高山市・恵那市と各地を回って、土岐市での勤務。しかも一番長く勤務していた駄知小学校に赴任というもの何かの縁を感じています。PTA役員や受け持つ子の保護者の中に多くの教え子の名前を見つけ、なぜかワクワクしている自分がいます。初心に戻り楽しく全力を尽くします。よろしくお願いいたします。

**◆肥田小学校****柴田 陽子**

6年前に育児退職して、今年度から新規採用者として土岐市にお世話になることになりました。

わが子が「はじめて」何かができるようになる姿に色々なことを思う日々でした。これから、豊かな自然に囲まれた、歴史ある陶磁器産業の盛んなこの土地で、土岐の子どもたちの「はじめて」に立ち会えることに感謝しています。新たな気持ちで努力したいと思っています。よろしくお願ひします。

**◆肥田小学校****田口 俊介**

今年度より肥田小学校でお世話になります。教員としての生活がスタートしてから、子どもたちと遊んだり勉強をしたりして、楽しい毎日を送っています。そんな元気潑刺な子どもたちがさらに大きく成長できるように精一杯がんばります。

また、自分自身も子どもたちと一緒に成長していき、「教師」と呼ばれるように精進していきたいと思っています。よろしくお願ひします。

**◆泉小学校****吉村 真美**

今、国語の授業で「スイミー」を学習しています。どの子もスイミーになりきって、海を泳いだり生き物に出会ったりしています。そのキラキラした目に出会うと、教師としての喜びを感じるるとともに、子どもたち

に力をつけるためさらに研修に努めなければと身の引き締まる思いです。子どもたちの思いを受け止め、寄り添いながら共に成長できる教師を目指し、努力を重ねていきます。

**◆泉小学校****安藤 早紀**

今の学校に初めて来たとき、たくさんの驚きがありました。見たことのない造りの教室、2階に設置されたプール、そしてかかところが奇麗に揃った下駄箱。心が奇麗で、明るく素直な子どもたち

に囲まれ、充実した毎日を送っています。そんな子どもたちの元気なあいさつと笑顔からパワーをもらい、私も子どもたちにあいさつと笑顔を返して共に成長していきます。

**◆泉西小学校****島戸 貴由**

本年度から泉西小学校でお世話になる島戸貴由と申します。初めての土地で不安もありましたがそれよりも新しい人たちとの出会いで、楽しみのほうが大きかったです。実際に子どもたちと関わっていても、思い

やりのある温かい心を持った子ばかりです。特に元気のよい挨拶にはいつも元気をもらっています。そんな子どもたちと元気よく笑顔を決やさない1年を送っていきたくです。

**◆泉西小学校****近藤 綾香**

土岐市の子どもたちに出会ったことで、教員という職業の魅力に気付くことができました。そして、新規採用として再び土岐市に勤務ができることをとてもうれしく思っています。「今日のぼく、昨日よりがんばったよね!」「あー、わかった!」と自分の変化や成長を喜びながら成長している子供たち。そんな姿がさらに増えるために周りの先生方の魅力あふれる指導から学んでいきます。

**◆土岐津中学校****今西 賀寿真**

「先生」と呼ばれる生活にも、少しずつですが慣れてきました。つい先日まで学生だった私にとって、教諭としての生活は決して楽なものではありません。しかし、毎朝子供たちに会いあいさつを交わすことで子供たちから元気と笑顔をもらえます。まだまだ授業も下手くそですが、元気と笑顔をくれる子供たちに良い授業をお返しできるように、精一杯取り組んでいきたいと思っています。

子供たちから元気と笑顔をもらえます。まだまだ授業も下手くそですが、元気と笑顔をくれる子供たちに良い授業をお返しできるように、精一杯取り組んでいきたいと思っています。

**◆西陵中学校****五島 佑**

本年度西陵中に着任しました五島佑と申します。初めての土岐市での生活にも少しずつ慣れ、先生方や地域の方々の温かさを感じています。また、生徒たちはとても活発で日々戸惑いばかりですが、生徒の人生の中でたった一度きりの一年間になる、その責任の重さを噛みしめながら教壇に立っています。いつか自分にしかできない魅力ある授業ができる教員になれるよう努力していきます。

本年度西陵中に着任しました五島佑と申します。初めての土岐市での生活にも少しずつ慣れ、先生方や地域の方々の温かさを感じています。また、生徒たちはとても活発で日々戸惑いばかりですが、生徒の人生の中でたった一度きりの一年間になる、その責任の重さを噛みしめながら教壇に立っています。いつか自分にしかできない魅力ある授業ができる教員になれるよう努力していきます。

**◆泉中学校****田之本 麻衣**

「授業はわかりやすく好きだけど、英語は嫌い。」先日ある生徒からもらった言葉です。嬉しいような悲しいような複雑な気持ちになりました。英語に対して苦手意識を持つ生徒もいますが、授業中とても楽しそうに活動する姿や笑顔からエネルギーをもらっています。子供たちに確かな学力を身につけさせられるよう、また笑顔をさらに増やせられるよう、日々精進していきたいと思っています。

「授業はわかりやすく好きだけど、英語は嫌い。」先日ある生徒からもらった言葉です。嬉しいような悲しいような複雑な気持ちになりました。英語に対して苦手意識を持つ生徒もいますが、授業中とても楽しそうに活動する姿や笑顔からエネルギーをもらっています。子供たちに確かな学力を身につけさせられるよう、また笑顔をさらに増やせられるよう、日々精進していきたいと思っています。

**◆泉中学校****成瀬 公志郎**

泉中学校に赴任して2カ月が経ちました。元気いっぱいの子どもたちに囲まれ、慌ただしいながらも楽しく毎日を過ごすことができます。授業や部活動など、さまざまな場面で「まだまだだな。」と力不足を痛感することがありますが、先生方や子どもたちから多くのことを学び、一人前の教師に成長できるように頑張っていきます。よろしくお願ひします。

泉中学校に赴任して2カ月が経ちました。元気いっぱいの子どもたちに囲まれ、慌ただしいながらも楽しく毎日を過ごすことができます。授業や部活動など、さまざまな場面で「まだまだだな。」と力不足を痛感することがありますが、先生方や子どもたちから多くのことを学び、一人前の教師に成長できるように頑張っていきます。よろしくお願ひします。

**◆駄知幼稚園****加藤 里紗**

初めてのクラス担任で分からないことも沢山ありますが、純粹な目で何にでも興味を持つ子どもと過ごす毎日は、とても刺激的で楽しいです。いろいろな可能性を秘めた子どもたちの成長に携われる保育士を、誇りに思っています。土岐市の子どもたちが明るく元気に育つよう、公務員としての自覚と責任をもって職務にあたります。よろしくお願ひします。

初めてのクラス担任で分からないことも沢山ありますが、純粹な目で何にでも興味を持つ子どもと過ごす毎日は、とても刺激的で楽しいです。いろいろな可能性を秘めた子どもたちの成長に携われる保育士を、誇りに思っています。土岐市の子どもたちが明るく元気に育つよう、公務員としての自覚と責任をもって職務にあたります。よろしくお願ひします。

**◆泉幼稚園****古川 紀恵**

初めて土岐市に来て、泉幼稚園の元気な子どもたちの声や笑顔・明るい職員の方々の雰囲気毎日の私のやる気になっています。入園当初は泣いていた子ども達も「幼稚園楽しい!」「好き〜」と言って笑顔で登園しています。そのような子どもたちの姿を喜ぶことを嬉しく思います。毎日を一生懸命に生きている子どもたちが適切な環境で多くの経験を送ることができるように努めていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

初めて土岐市に来て、泉幼稚園の元気な子どもたちの声や笑顔・明るい職員の方々の雰囲気毎日の私のやる気になっています。入園当初は泣いていた子ども達も「幼稚園楽しい!」「好き〜」と言って笑顔で登園しています。そのような子どもたちの姿を喜ぶことを嬉しく思います。毎日を一生懸命に生きている子どもたちが適切な環境で多くの経験を送ることができるように努めていきたいと思っています。よろしくお願ひいたします。

## 「心にひびく言葉」

# 「ちゅうちゅうだらだらでいいのよ。」

土岐津小学校 教頭 村上 欣子

子育ての頃、よく義母に電話で「ちゅうちゅうだらだらでいいのよ。」と言われた言葉である。(東濃では「たーぎゃーたーぎゃー」と言うらしい。)

先週、「保健室に蛇が入って行きました。」との子どもからの知らせに、午後から養教は出張で保健室は施錠しており半信半疑で行くと、扉のパッキンの下が5cmほど破れていた。まさか…。鍵を開け、恐る恐る中に入り棚をそっと動かすと、なんと1m以上の蛇が。その瞬間、緊張と怖さで心の針が振り切れた。応援職員とともに捕獲格闘。

そんな時、廊下から「近づいちゃだめ。」と集まってくる子を止めている声。その声は、いつも「何してるの。」「どうしたの。」と何でも知りたがって寄ってくる子だった。「大丈夫だよ。アオダイショウ！毒はないよ。」その声は、図書館の図鑑が大好

きで、毒のある生き物を得意気に説明してくれた子だった。「教頭先生、大きな声を出しちゃだめ。蛇がびっくりして逃げちゃうよ。」その声は、いつも大声を出して注意を受ける子だった。怖さの中でも笑いが込み上げてきた。汗だくになっていた自分にゆとりが生まれてきた。かくして無事捕獲し山に戻すことができた。やれやれ・・・。

極端な場面だが、ふと「ちゅうちゅうだらだら」は心にゆとりをもって慌てず適切に行うことと気付いた。姑が笑いながら話していた意味が今更ながら心に響いている。今話題の働き方改革は心の改革でもある。働き方を心にゆとりをもつ面からも見つめ直していきたい。「ちゅうちゅうだらだらでいいのよ。」

## 掲 示 板

◇土岐市中学校総合体育大会(団体)結果 ※今年度も各会場で熱戦が繰り広げられました。

種 目		優勝	準優勝	第3位
陸 上	男子総合	泉中学校	西陵中学校	土岐津中学校
	女子総合	泉中学校	土岐津中学校	西陵中学校
	男女総合	泉中学校	土岐津中学校	西陵中学校
バレーボール	男子	泉中学校	土岐津中学校	濃南中学校
	女子	泉中学校	駄知中学校	西陵中学校
バスケットボール	男子	泉中学校	土岐津中学校	西陵中学校
	女子	泉中学校	西陵中学校	駄知中学校
ソフトボール	女子	泉中学校	西陵・土岐津中学校	肥田中学校
軟式野球		泉中学校	西陵中学校	駄知・濃南中学校
ソフトテニス	男子	西陵中学校	駄知中学校	肥田中学校
	女子	西陵中学校	肥田中学校	泉中学校
卓 球	男子	西陵中学校	駄知中学校	土岐津中学校
	女子	駄知中学校	濃南中学校	泉中学校
剣 道	男子	泉中学校	肥田中学校	西陵中学校
	女子	泉中学校	肥田中学校	西陵中学校
サッカー		泉中学校	駄知中学校	